

農業試験研究独立行政法人の施設整備 (農業環境技術研究所のR I 施設改修等)

【296百万円】

対策のポイント

農業環境技術研究所のR I 施設(研究用放射性物質取扱施設)を整備して、精度の高い農畜産物等の放射性物質に関する調査・分析を実施します。

<背景／課題>

- ・(独)農業環境技術研究所(農環研)では、福島第一原子力発電所事故以降、継続的に、農地土壌等の放射性物質の調査・分析を実施してきたところです。
- ・しかし、大量のサンプルを調査・分析した結果、実験施設全体の汚染が進み、精度の高い測定が困難になりつつあります。また、今後継続して調査・分析を進めるにあたっては、作業者の放射線障害を防止し、安全性を確保することが不可欠となっています。
- ・このため、農環研のR I 施設を整備することにより、調査・分析の精度及び作業者等の安全性を確保し、農畜産物等の放射性物質に関する調査・分析を実施するとともに、今後の対策に資する取組を進めていく必要があります。

政策目標

農環研のR I 施設を整備して、調査・分析の精度及び作業者等の安全性を確保し、今後の対策に資する取組を推進

<主な内容>

(独)農業環境技術研究所において空調付きクリーンブース、放射線監視装置等を整備することにより、調査・分析の精度及び作業者等の安全性を確保し、農畜産物等の放射性物質に関する調査・分析を実施します。

補助率：定額

事業実施主体：(独)農業環境技術研究所

お問い合わせ先：

農林水産技術会議事務局技術政策課 (03-3501-4609 (直))

農業環境技術研究所のRI施設改修等

【296百万円】

背景・課題

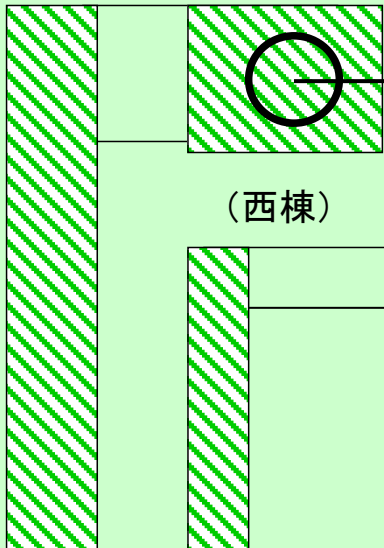
大量の農地土壌等の調査・分析

実験施設全体の汚染が進み、
精度の高い測定が難しい



整備内容

アイソトープ実験棟



(西棟)

放射能測定装置



クリーンブース

高性能フィルター
(空気を清浄化)

1) 測定精度確保のための除染
(クリーンな実験ゾーンを作る)

3) 安定した研究環境の整備
(受変電設備の更新等)

2) 作業従事者の健康被害の未然
防止及び測定精度確保のための
測定環境の整備

①クリーンブースの設置
②放射能監視装置の設置

測定精度確保

土壌や作物の放射能基準に係わる評価が正確にでき、
生産、出荷、流通の是非が的確に判断できる